

LASTAGE COMBINE TRAILER U408D

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

株式会社 富士トレーラー製作所

はじめに

このたびは、COMBINE TRAILER **LASTAGE L408D**（以下、トレーラーと記載）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、製品の取扱方法や手順、使用上の注意事項等について説明しております。
ご使用前に、必ず本書をお読み頂き、十分にご理解された後にお取扱いください。

なお、本製品の性能・品質・安全の向上等を目的とし、使用部品の変更を行うことがあります。
その際、取扱説明書の内容及び写真・イラストなどの一部が本製品と一致しない場合がございますので、ご了承ください。

◎注意表示について

使用上、特に重要と考えられる注意事項について下記のように表示しています。
必ず守り作業をしてください。

 **危険** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** 注意事項を守らない場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

◎本製品(トレーラー)の使用に際しての注意事項

- 1) コンバインの運搬を使用目的とし、使用目的以外の作業には決して使わないでください。
- 2) 急発進、急停車、急旋回などは避け、安全作業を心がけるようにしてください。
本製品の故障の原因となります。
- 3) 作業に際しては運転操作に十分注意するようにしてください。

安全に作業をするまえに	1	コンバインの積み込み作業	7
仕様諸元	3	1. 積み込みの時は場所を選んでください	7
主要各部の名称	3	2. コンバインの積み込み	7
各部調整	4	3. コンバインの積み降ろし	7
トラクターとトレーラーのセット	6	車庫から圃場へ	8
1. 牽引車としての適応トラクター	6	保守点検	9
2. トラクターとの連結	6	配線図	10

【 安全に作業をするまえに 】



1)こんなときは運転しない

病気のときは運転しないでください。
飲酒時や気分のすぐれず集中できないときは運転しないでください。

2)作業時の服装

だぶついた服装での作業はしないでください。腰タオル、首巻きタオル、はちまきはしないでください。サンダルなど、脱げやすい靴は履かないでください。ヘルメットを着用してください。

▲機械に巻き込まれたり滑って転倒する原因になります。

3)トレーラーを他人に貸すときは取扱の説明をする

トレーラーを他人に貸すときは操作の仕方を教え取扱説明書を必ず読むようにしてください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

**4)トラクターにトレーラーを装着する前にはトラクター
の取扱説明書を読む**

トラクターにトレーラーを装着する前にはトラクターの取扱説明書を読みトレーラーに適した操作方法を確認してからトレーラーを装着してください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

5)積載重量の範囲内で使用する

トレーラーは決められた積載重量で設計しています。
積載重量の範囲内で使用してください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

【 安全に作業をするまえに 】

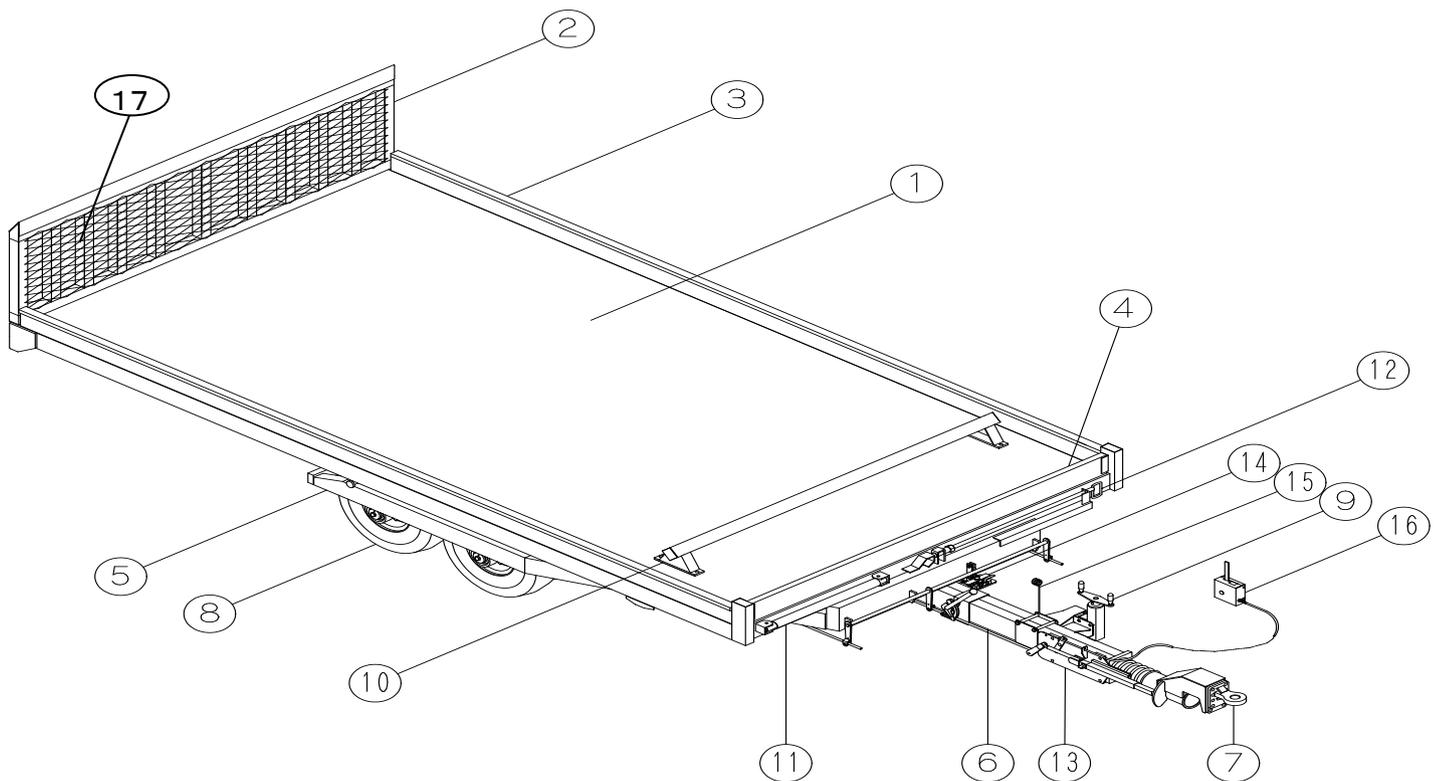
<p>運転まえの注意事項</p>  <p>注意</p>	<p>1)トレーラー装着時には公道の走行は禁止 トレーラー装着時には公道の走行は禁止です。走行はしないでください。 必ずトレーラーを取り外して走行してください。 <u>▲道路運送車両法違反です。事故を起こすおそれがあります。</u></p> <p>2)トレーラーの改造は禁止 トレーラーの改造はしないでください。純正部品以外は取付けないでください。 <u>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p> <p>3)トラクター以外での牽引は禁止 トレーラーはトラクターで牽引するように設計しています。 <u>▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p>
<p>点検・整備の注意事項</p>  <p>警告</p>	<p>1)点検・整備・修理・掃除はトラクターのエンジンを停止する 点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態で行う時は、 トラクターのエンジンを停止してください。 <u>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</u></p>
<p>点検・整備の注意事項</p>  <p>注意</p>	<p>1)点検・整備をする トレーラーを使用する前と後には点検・整備をしてください。 <u>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</u></p> <p>2)点検・整備は平らで安定している場所で行う 交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない平らで 安定している場所で行ってください。 <u>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</u></p>
<p>作業時の注意事項</p>  <p>警告</p>	<p>1)トレーラーの脱着は平らで安定している場所で行う トレーラーの脱着は平らで安定している場所で行ってください</p> <p>2)トラクターとトレーラーの周辺に人を近づけない <u>▲事故を起こすおそれがあります。</u></p> <p>3)無理な旋回はおこなわない <u>▲無理な旋回をおこなうと事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p>

【 仕様諸元 】

・ **L408D** (ショックダンパー付シーソー式)

型式	荷台長さ (mm)	荷台幅 (mm)	荷台高さ (mm)	タイヤ(600×9) (ダブルタイヤ)	最大 積最重量	備考
	3900	2000	570	4軸・8本 10PR	5.0t	床(鉄板張り) 車軸(左右独立) 方向指示器付 荷枠(三方開き) 全長 5820mm 前幅 2130mm

【 主要各部の名称 】



各 部 名 称			
1	荷台	10	クローラー止め装置
2	後アオリ	11	テコ棒
3	デラックスアオリ(左右)	12	自動ロックピン
4	タルキ	13	慣性自動ブレーキ
5	シャーシー	14	調整バルブ(ショックダンパー付)
6	牽引桿	15	配線通し金具
7	ヒッチ	16	操作レバー(慣性ブレーキ用)
8	ダブルタイヤ	17	ネームプレート
9	スタンド		

【 各部調整 】

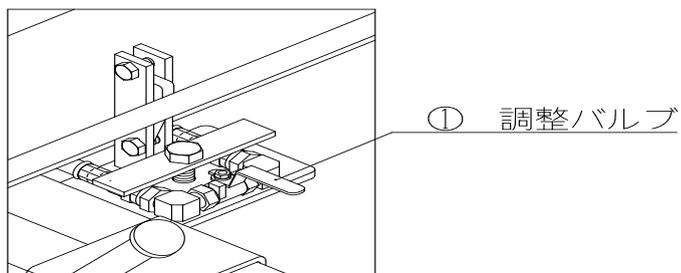
1. NO. 10 クローラー止め装置

クローラー止め装置の正しい位置合わせ
コンバインを荷台に乗せていくと自然に荷台が下がる位置が見つかります。
この状態に一番近い所にクローラー止め装置を取付けてください。

2. NO. 14 調整バルブ(ショックバンパー用)

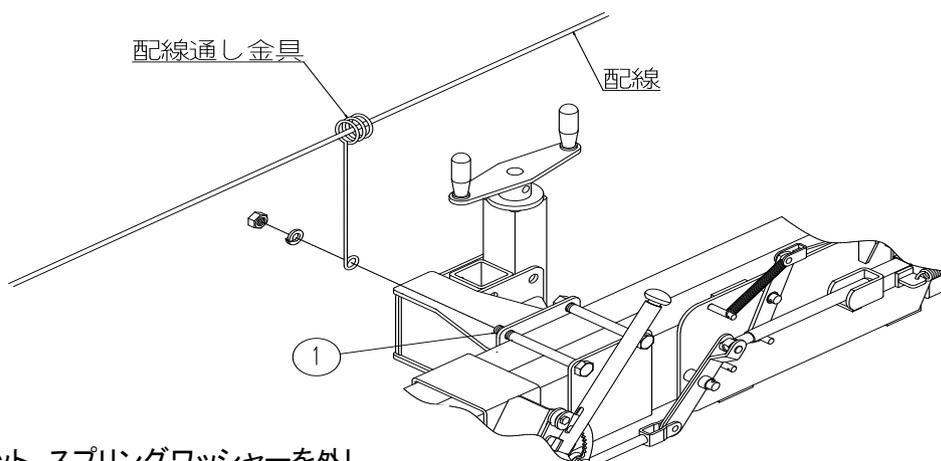
1) ショックダンパーの調整

空の荷台を水平にしロックする場合に ①調整バルブ を開いてください。
空の荷台でも楽に水平になります。水平ロック後は必ずバルブは閉めてください。



3. NO. 15 配線通し金具

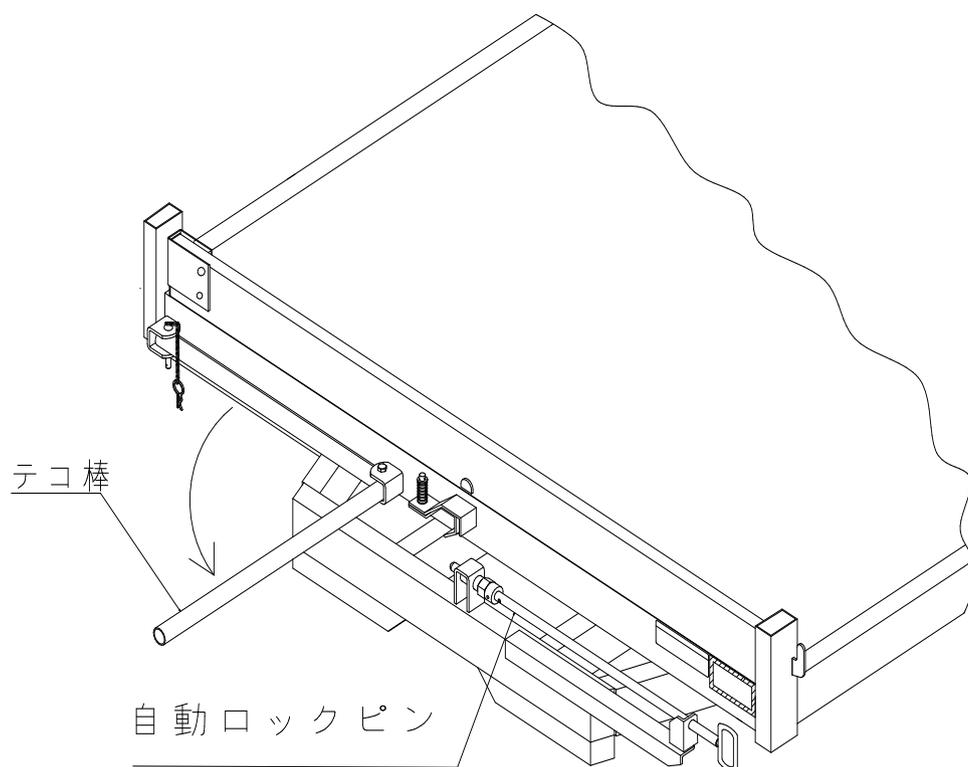
1) 配線通し金具は予備箱に入っています。
下図のように取付けてください。



①ナット、スプリングワッシャーを外し
配線通し金具を取付けてください。

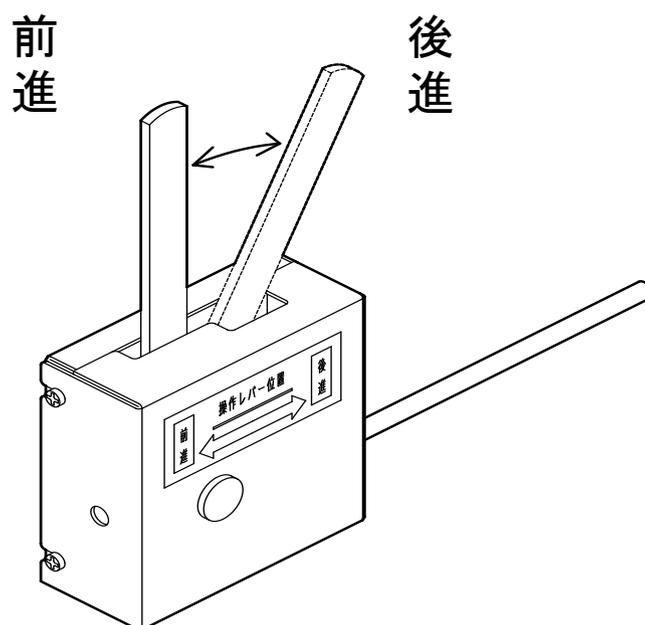
4. NO. 11 テコ棒

コンバイン等を降ろして荷台を水平に戻す時、自重不足でロックが出来ない場合、テコ棒に自重をかけて荷台をロックしてください。



5. NO. 16 操作レバー(慣性ブレーキ用)

慣性ブレーキをきかせる場合はレバーを前進の位置にセットし、慣性ブレーキを解除する場合(バック歩行)はレバーを後進の位置にセットしてください。



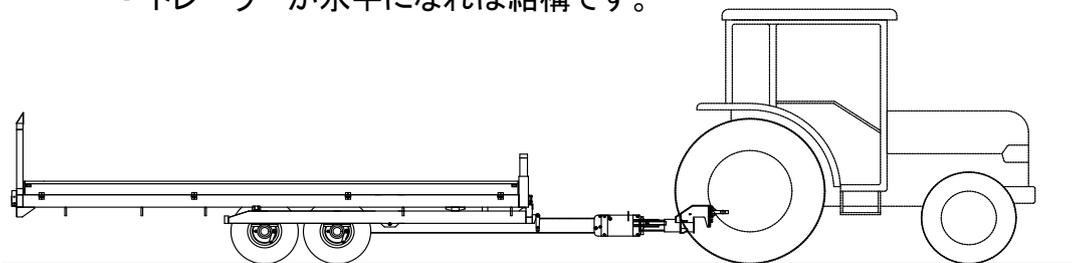
【 トラクター とトレーラーのセット 】

1. 牽引車としての適応トラクター

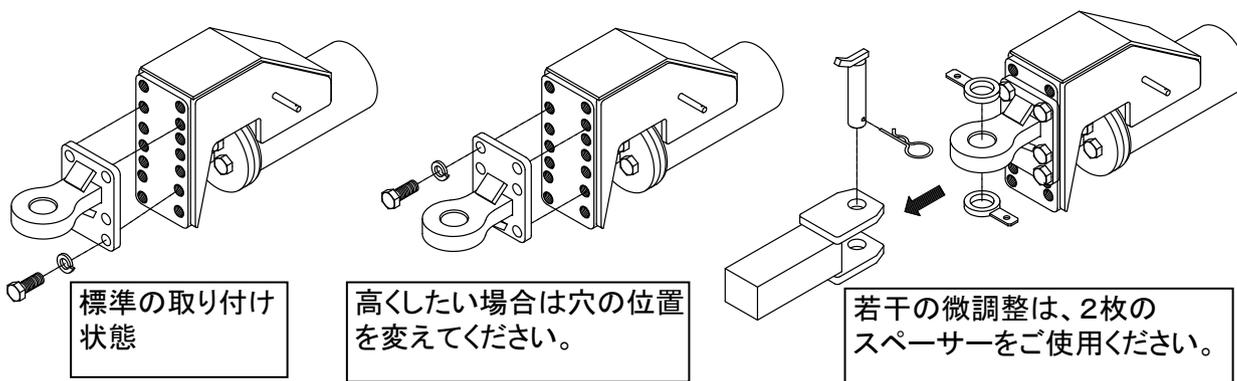
50馬力級以上のトラクターを牽引車としてご用意ください。

2. トラクターとの連結時の注意事項

- 1) トラクターとトレーラーの間に人が居ないかご確認ください。
- 2) トラクターを徐々にバックさせてください。
- 3) トラクター側の牽引管の高さにご注意ください。
 - ・ トレーラーが水平になれば結構です。



もし水平が取れない場合はトレーラー牽引管ヒッチを回転させ(180°) トレーラーの水平を保持するようにしてください。



4) トラクターとトレーラーの連結を固定ピンで行い、固定ピンをしっかり差し込んだ事を再確認を行いRピンで固定してください。

5) その他

テールランプ・方向指示器は、12V電源用です。
トラクター側を確認してから接続してください。

トラクター側配線	白(黄ライン) 方向指示(左)	赤	テールランプ
	白(赤ライン) 方向指示(右)	黒(白ライン)	ストップランプ
		黒	アース

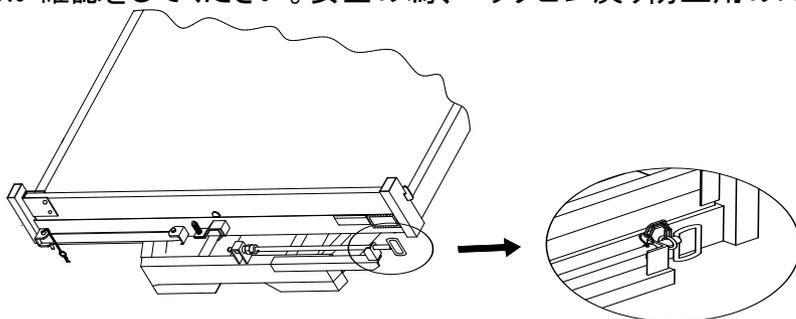
【 コンバインの積み込み / 積み降ろし作業 】

1. 積み込み / 積み降ろしは安全な場所を選んでください

- 1) 強固な地盤且つ平坦な所を選び作業してください。
- 2) 常に機械の周囲に注意を払い安全を確保し作業してください。
- 3) 上り坂・下り坂では絶対行わないでください。
- 4) トラクターの車輪には輪止めをするなどの注意を払ってください。
- 5) トラクターの駐車ブレーキは必ずしてください。

2. コンバインの積み込み

- 1) トレーラーの床が霧・雨等で濡れている時は、積み込み作業を中止してください。
スリップして危険です。
 - 2) コンバインのクローラー部分に粘質の土が多量に付着したまま積み込み作業はしないでください。
 - 3) コンバインのグレンタンクのみは片荷と過積載のもとです。
コンバイングレンタンク内が空であることを確認の上作業してください。
 - 4) 後アオリを倒してください。倒す際には「ネームプレート」部を掴んでの作業は大変危険です
注意してください。
 - 5) 荷台とシャーシーとを固定させている自動ロックピンを抜くと荷台が後方へ傾斜しますので、
その荷台端が地面に完全に着地したことを確認してください。
 - 6) コンバイン積み込み時は最も低速で作業してください。
 - 7) トレーラーの車軸部にコンバイン重量の中心が乗る様に積んでください。
前荷の場合 : 牽引管に負担がかかり危険です。
後荷の場合 : トラクターのバランス及び牽引管に無理がかかり危険です。
 - 8) 積載重量は下記を厳守してください。(※グレンコンテナ注意)
- | | |
|---------|-----------|
| L-408・D | 5.0 ton以下 |
|---------|-----------|
- 9) トレーラーにバランス良く積み込んだら荷台とシャーシーとの自動ロックピンがロックされているか確認をしてください。安全の為、ロックピン戻り防止用のRピンで固定してください。



- 10) コンバインの積載が完了したら荷崩れしないように荷台にしっかりとロープ等で固定させてください。

3. コンバインの積み降ろし

- 1) 後アオリを倒してください。
- 2) 自動ロックピンを解除してください。
- 3) コンバインを降ろす時は最も低速で作業してください。

【 車庫から圃場へ 】

圃場へ行く迄には交通事故にご注意される事は勿論、次の各項目に充分ご留意ください。

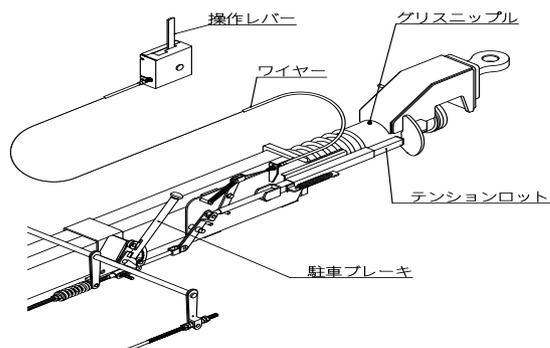
- 1) トレーラーは公道を走行できません。
- 2) コンバインのサイズによりトレーラーの幅からはみ出る事がありますので、
往来中の車輛ならびに、建造物等に接触しないように運転操作にはご注意ください。
- 3) 十字路、カーブ、変則十字路等での運搬の際にも、運転操作や安全確認にはご注意ください。
- 4) トラクターのブレーキペダルは左・右連結して走行してください。
- 5) 走行スピードは最低速を厳守してください。
- 6) トレーラー荷台には人は絶対乗らないでください。
- 7) コンバイン運搬の際には固定バンドやロープにて本製品と固定するようにしてください。

【 保守点検 】

1. 注油

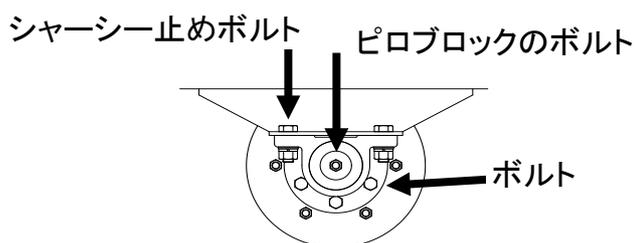
使用時には必ず注油してください。

- 1) グリスニップル部
- 2) テンションロット部

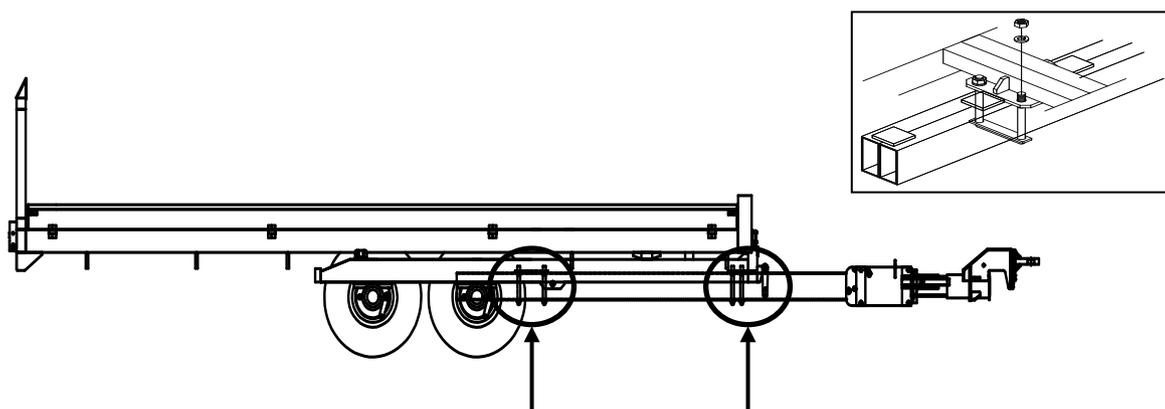


2. 足廻り

- 1) 使用時にはホイールのボルトの緩みを確認してください。必要に応じて増し締めをしてください。
- 2) ピロブロックは緩みがないか点検してください。
- 3) シャーシー止めボルトはシーズン始めに増し締めしてください。



- 4) シャーシーと牽引管のボルトの緩みをチェックし増し締めしてください。



3. タイヤの空気圧

- 1) タイヤの空気圧は下記のように調整してください。
(外輪の空気注入口から内側のタイヤに空気を入れる事ができます。)

600×9-10PR	7.0 kgf/cm ²
------------	-------------------------

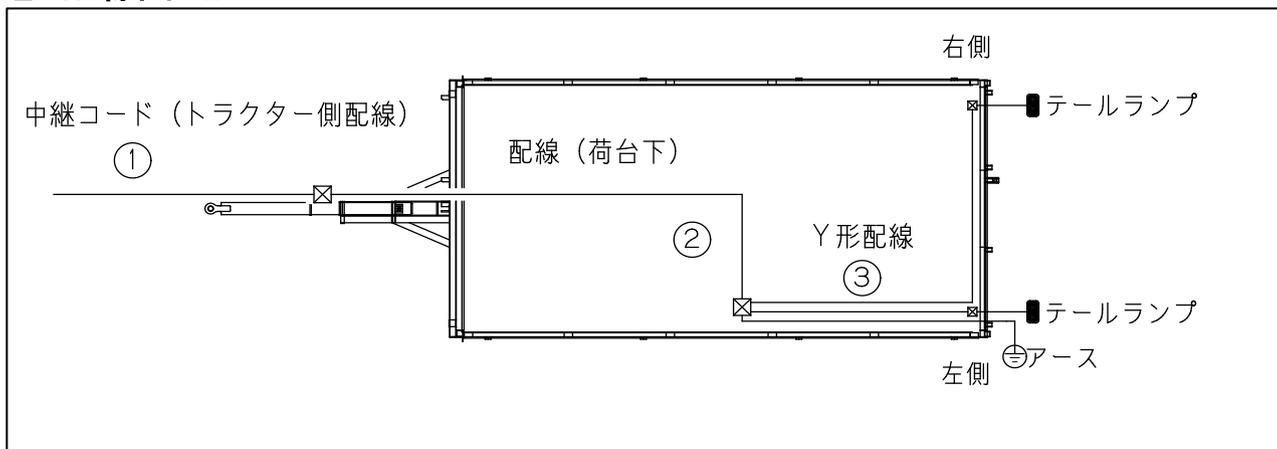
4. 作業シーズン終了後の保守点検

- 1) 作業の終わりには必ず洗浄をしてください。
- 2) 格納する場所は湿気やホコリの無い場所に保管してください。

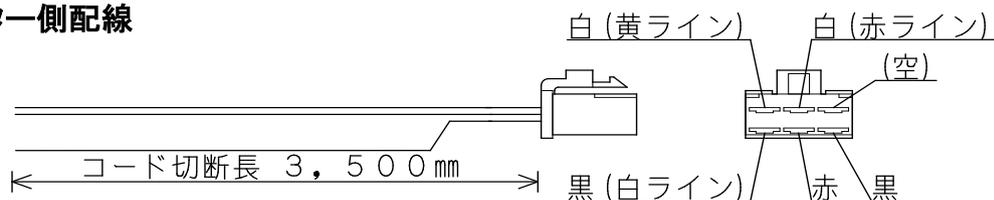
5. ショックダンパーオイル量

油圧作動油 耐摩耗性 #32	1.03L
----------------	-------

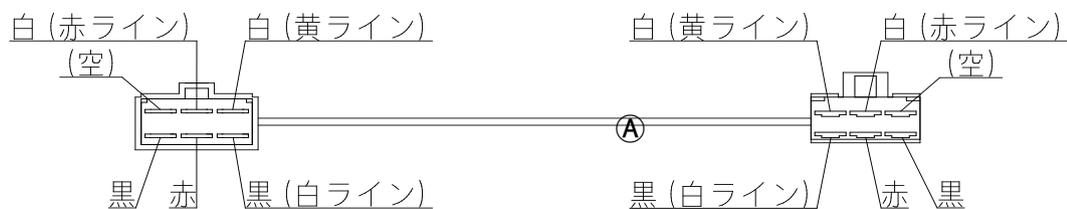
【 配線図 】



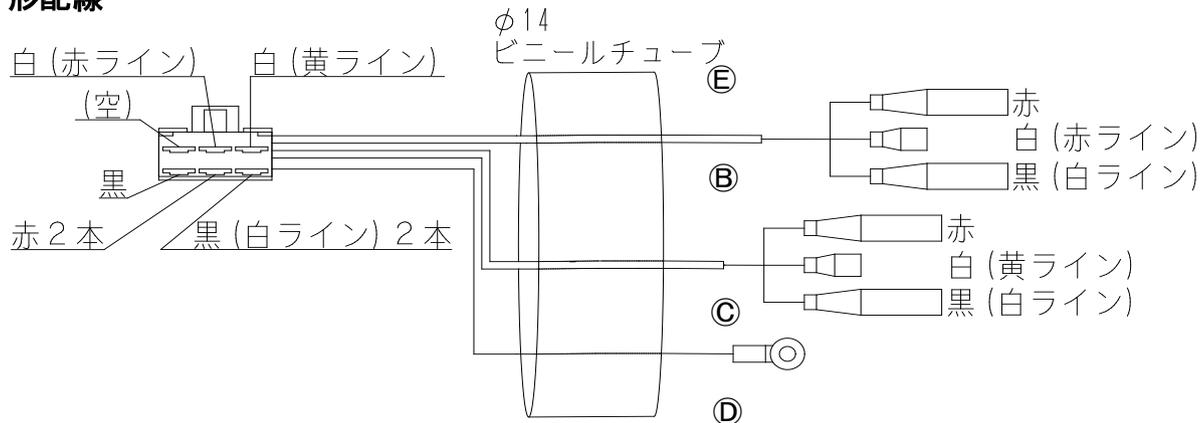
①トラクター側配線



②配線 (荷台下) 図は差込み側より



③Y形配線



コード切断長(mm)

機種	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
L408	2940	2080	1550	2130	1430



株式会社 富士トレーラー製作所

〒959-0310 新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地
TEL(0256)94-5551(代) ・ FAX(0256)94-5555
<http://fuji-trailer.co.jp>

秋田営業所	／	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字中沢263-4	TEL (0187)68-4511 (代) FAX (0187)68-4855
鷹巣営業所	／	〒018-3301	秋田県北秋田市綴子字佐戸岱5-21	TEL (0186)63-2384 (代) FAX (0186)63-2385
酒田営業所	／	〒998-0852	山形県酒田市こがね町2丁目1番地の10	TEL (0234)23-3791 (代) FAX (0234)23-3790
古川営業所	／	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字浦田137-2	TEL (0229)25-6536 (代) FAX (0229)25-6537
大宮営業所	／	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目268番地3	TEL (048)652-3877 (代) FAX (048)652-0729
新潟営業所	／	〒959-0310	新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地	TEL (0256)94-3141 (代) FAX (0256)94-5734